

## 【政策の柱Ⅴ】

都市のさまざまな活動を支える  
都市基盤の機能と質を高めるために



第5次総合計画基本計画 中間総括評価表【施策編】

政策の柱	V 都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために	政策名 (基本施策名)	1 機能的で魅力のある都市空間を形成する	施策名	① 地域特性に応じた土地利用の推進
------	----------------------------------	----------------	----------------------	-----	-------------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19 基準年	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23 見込み	H24 見込み	H22 H24見通し
					◆都市計画マスタープランを改定し、ネットワーク型コンパクトシティの形成に向け、地区計画制度等の活用や開発許可制度の運用などの土地利用の適正化に取り組んでいる。 ◆都市形成の状況を的確に把握し、規制誘導による土地利用を推進するため、人口規模、市街地面積、土地利用の現況などの継続的な基礎調査を実施している。	◆地区計画導入地区数は、説明会を開催し、住民の理解を得ることにより、平成19年度比で10%の増加となっている。 ⇒平成24年度末の見通しとしては、今後も適宜説明会を開催していくことにより、95.8%の達成率となり、概ね目標を達成する見込みである。	87.5%	地区計画導入地区数	地区	19	20
◆地域特性に応じた土地利用を推進していくためには、土地利用の適正化により、調和の取れたまちづくりが必要であり、ネットワーク型コンパクトシティの実現化に向けた具体的な施策を構築することが課題となっている。 ◆ネットワーク型コンパクトシティ形成に資する施策事業への支援のあり方が求められている。 ◆地籍調査事業は、調査面積が広大であり、事業期間が長期に及ぶため、計画的な事業推進を図る必要がある。			市民意識調査(重要度・満足度)			H20	H21	H22			
					重要度	60.7	53.1	54.8			%
					満足度	17.3	13.1	15.0			%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
1	地区計画制度の活用	市民・事業者	H元	説明会、協議の回数	回	10	10	10	10
2	公共施設等の受入れ事業	開発許可により設置された公共施設の土地登記名義人及び抵当権設定者	H5	公共施設等受入れ権利数	件	80	150	100	100
					件	72	82	122	
				公共施設等受入れ団地数	件	20	30	25	25
					件	27	19	27	
3	都市計画基礎調査	市民・事業者	S48	基礎調査項目数	回	6	6	6	6
4	地籍調査事業	宇都宮市域に存する土地所有者及び管理者(土地改良事業・土地区画整理事業実施区域等を除く)	H12	地籍調査実施面積	km <sup>2</sup>	4.03	3.99	4.22	2.61
					km <sup>2</sup>	4.03	3.99	4.22	



第5次総合計画基本計画 中間総括評価表【施策編】

政策の柱	V 都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために	政策名 (基本施策名)	1 機能的で魅力のある都市空間を形成する	施策名	② 都市機能の適正配置と機能間連携の推進
------	----------------------------------	----------------	----------------------	-----	----------------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率
					H19 基準年	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23 見込み	H24 見込み	H22 H24見通し
◆都市機能の高度化と生活環境の安全性・快適性の向上のため、市街地再開発事業の促進や土地区画整理事業の推進などの多様な事業手法を導入している。 ◆拠点間を連携する交通基盤充実のため、東西基幹公共交通の導入や、円滑な道路ネットワークの構築に向けた取り組みを推進している。 ◆都市計画道路の整備については、円滑な道路ネットワークの形成や交通容量の拡大を図るため、計画的・効果的に事業を推進している。	◆土地区画整理事業の進捗状況は、鶴田第1土地区画整理事業の終了などにより、整備面積が平成19年度から85.5ha増加している。 ⇒平成24年度末の見通しとしては、1,991.8haの整備面積を達成する見込みである。 ◆都市計画道路の整備率については、平成22年度目標値64.8%に対して67.4%を達成している。 ⇒平成24年度末の見通しとしては、すでに目標に達しており、さらに指標を上回る実績となる見込みである。	93.1%	土地区画整理事業の進捗率	整備面積: ha	/	-	-	-	-	2,128.60	93.1%
			都市計画道路の整備率	%	/	1,895.20	1,935.91	1,961.39	1,980.70	1,986.49	1,991.80
課題 ◆市街地再開発事業や土地区画整理事業など、多様な市街地整備手法の導入により、JR宇都宮駅周辺地区や中心市街地などにおいて、高次な都市機能や交通結節機能の整備が求められている。 ◆中心市街地の活性化は、機能的で魅力のある都市空間の形成、ネットワーク型コンパクトシティ実現において、市全体の発展を牽引し重要な役割である。					/						
					/						
			市民意識調査(重要度・満足度)			H20	H21	H22			
				重要度		56.8	54.6	54.8			%
				満足度		17.0	19.3	16.8			%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
市街地再開発事業の促進		→	◆中心市街地の活性化や安全・安心で快適な居住環境を整備するため、平成22年12月に馬場通り西地区が、平成23年3月に宇都宮駅西口第四B地区が竣工し、また現在、大手地区、バンバ地区、千手・宮島地区の3地区にて再開発事業を推進している。 ⇒大手地区、バンバ地区、千手・宮島地区については、早期の事業化に向けた取り組みを進めている。	◆権利者の合意形成 ◆事業の核となるデベロッパー及びキーテナントの確保
土地区画整理事業の推進		→	◆安全・安心で快適なゆとりある居住環境を整備するため、平成20年9月に東谷・中島地区が、平成22年10月に鶴田第1地区が、平成23年9月に中里原地区が終了し、現在、8地区で土地区画整理事業を推進している。また小幡・清住地区については、平成21年度より事業用地の先行買収に着手し、地区への説明会を開催することで事業への熟度を高めており、東部(未着手)地区については、事業化に向けた地元組織づくりや組織の運営支援を行っている。 ⇒事業実施地区については、事業計画に基づき計画的な事業を推進する。また小幡・清住地区については、都心環状線の早期整備に向け、平成24年度中の事業認可をめざす。東部(未着手)地区については、地元組織を通じた継続的な協議を進めながら、事業化に向けた合意形成に取り組む。	◆効率的な事業展開の推進(小幡・清住地区) ◆地元機運の醸成と合意形成(東部未着手地区)

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値，下段：実績値）			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
再掲	小幡・清住土地区画整理事業	関係権利者及び市民	S41	まちづくり協議会等の開催	回	3	5	15	5
				用地買収	m <sup>2</sup>	3	10	24	
						0	0	1,000	300
						0	0	1,060	
再掲	中里原土地区画整理事業	事業計画決定区域(中里町の一部：14.4ha)関係権利者55人)及び市民	H18	道路築造延長	m	2,221	1,950	316	0
				宅地造成面積	m <sup>2</sup>	2,005	1,931	316	
						35,000	12,000	12,000	0
						34,468	11,803	12,000	
再掲	東西基幹公共交通（LRT等）の導入	市民・来街者	H6	—		市民理解の促進 宇都宮市都市・地域交通戦略の策定等	市民説明の実施 市民説明資料の検討	市民説明の実施 パンフレット配布 オープンハウス開催	市民説明の実施 パンフレット配布 オープンハウス開催
再掲	都市計画道路整備事業	市民・道路利用者	S46	整備済延長	m	60	570	0	0
				用地取得面積	m <sup>2</sup>	60	570	0	
						4,165	2,684	1,686	2,873
						2,312	3,986	794	
再掲	再開発促進事業	市街地総合再生計画対象地区内再開発準備組合等：パンハ地区、大手地区ほか（計3地区）	S57	会合開催数（地元打合せ、企業ヒアリング）	回	42	42	63	63
				コンサルタント派遣地区数	地区	55	54	72	
						2	2	3	3
						2	2	3	
再掲	宇都宮東部土地区画整理事業（未着手地区の推進）	関係権利者及び市民	H7	まちづくり意見交換会等の開催数	回	5	4	3	3
						6	4	7	
再掲	宇都宮テクノポリスセンター土地区画整理事業	独立行政法人都市再生機構事業区域関係者及び市民（宇都宮テクノポリスセンター地区177.2ha、関係権利者398人）	H8	道路築造延長	m	700	200	850	0
				宅地造成面積	m <sup>2</sup>	4,637	4,042	3,050	
						14,000	14,000	121,000	0
						307,000	180,654	123,457	
再掲	宇都宮大学東南部第1土地区画整理事業	事業計画区域（平松本町、東峰町、峰町、石井町の各一部48.2ha）関係権利者904人及び市民	H11	道路築造延長	m	800	800	800	800
				宅地造成面積	m <sup>2</sup>	1,175	567	666	
						10,000	10,000	10,000	10,000
						12,600	10,600	10,000	

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値，下段：実績値）			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
再掲	宇都宮大学東南部第2土地区画整理事業	・事業計画区域（東峰町、平松本町、峰町、平松町の各一部 41.8ha） ・関係権利者（960人）及び市民	H19	道路築造延長	m	0	110	180	460
				宅地造成面積	m <sup>2</sup>	0	205	270	
				宅地造成面積	m <sup>2</sup>	0	2,300	3,700	9,500
				宅地造成面積	m <sup>2</sup>	0	2,800	3,800	
				事業用地先行取得面積	m <sup>2</sup>	4,470	0	0	0
				事業用地先行取得面積	m <sup>2</sup>	4,470	0	0	
再掲	鶴田第2土地区画整理事業	・事業計画決定区域（鶴田町の一部 86.2ha） ・関係権利者（724人）及び市民	H11	道路築造延長	m	3,499	1,960	2,270	2,000
				道路築造延長	m	1,460	1,949	1,751	
				宅地造成面積	m <sup>2</sup>	32,158	27,269	31,500	27,000
				宅地造成面積	m <sup>2</sup>	44,440	38,135	26,079	
再掲	岡本駅西土地区画整理事業	事業計画決定区域（下岡本町、中岡本町、東岡本町の各一部 59.2ha） 関係権利者（892） 及び市民	H6	道路築造延長	m	450	1,500	400	860
				道路築造延長	m	428	1,564	369	
				宅地造成面積	m <sup>2</sup>	4,500	9,000	14,300	17,750
				宅地造成面積	m <sup>2</sup>	4,222	9,359	17,978	
再掲	宇都宮千手・宮島地区市街地再開発事業	全市民・権利者で構成する地元組織（再開発準備組合、市街地再開発組合）	H19	事業進捗率	%	100	100	100	100
				事業進捗率	%	0	0	0	
再掲	雀宮駅西土地区画整理事業	関係権利者及び市民	H2	相談窓口の開設	回数	12	12	12	12
				相談窓口の開設	回数	12	12	12	
再掲	陽北土地区画整理事業残工事	北一の沢町地内、市道 959、960、961号線 関係権利者及び市民	H18	道路築造延長	m	0	40	80	40
				道路築造延長	m	0	0	0	







3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値,下段:実績値)			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
1	中心市街地活性化事業	市民・来街者	H21	中心市街地活性化協議会の開催回数	回	—	6	3	3
				計画計上事業の実施事業数	事業	—	15	2	
						—	0	39	39
						—	0	39	
2	宇都宮駅東口地区整備事業	市民・来街者	H16	土地区画整理事業の実施		0	0	0	0
				高次都市機能の集積		0	0	0	0
						0	0	0	0
						0	0	0	0
3	雀宮駅東地区整備の推進	雀宮地域住民及び市民	H18	駅舎等床面積	m <sup>2</sup>	0	0	1,790	0
				駅前広場・駐車場等面積	m <sup>2</sup>	0	0	21,000	0
						0	0	18,500	
				道路延長	m	0	0	2,350	2,620
						0	0	1,784	
				4	JR宇都宮駅西口周辺地区の整備事業	市民及び来訪者	H19	基本構想の策定に向けた取組の実施	
	0	0	0						
5	中里原土地区画整理事業	事業計画決定区域(中里町の一部14.4ha)関係権利者(55人)及び市民	H18	道路築造延長	m	2,221	1,950	316	0
				宅地造成面積	m <sup>2</sup>	2,005	1,931	316	
						35,000	12,000	12,000	0
						34,468	11,803	12,000	
6	小幡・清住土地区画整理事業	市民及び関係権利者	S41	まちづくり協議会等の開催		3	5	15	5
				用地買収	m <sup>2</sup>	3	10	24	
						0	0	1,000	300
						0	0	1,060	
7	岡本駅周辺地区整備事業	岡本駅周辺地区及び市北部地域住民	H21	岡本駅周辺の整備		0	0	0	0
						0	0	0	
8	雀宮駅西口沿道整備街路事業	関係権利者及び市民	H20	道路築造延長	m	0	51	51	69
				宅地造成面積	m <sup>2</sup>	0	0	51	
						0	460	2,900	1,200
						0	460	920	
9	岡本駅西土地区画整理事業	事業計画決定区域(下岡本町、中岡本町及び東岡本町の一部59.2ha)関係権利者(892人)及び市民	H6	道路築造延長	m	450	1,500	400	860
				宅地造成面積	m <sup>2</sup>	428	1,564	369	
						4,500	9,000	14,300	17,750
						4,222	9,359	17,978	

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
10	宇都宮テクノポリスセンター土地区画整理事業	市民及び関係地権者	H8	道路築造延長	m	700	200	850	0
				宅地造成面積	m <sup>2</sup>	4,637	4,042	3,050	0
						14,000	14,000	121,000	0
						307,000	180,654	123,457	
11	宇都宮大学東南部第1土地区画整理事業	事業計画区域(平松本町、東峰町、峰町、石井町の各一部 48.2ha) 関係権利者(904人)及び市民	H11	道路築造延長(m)		800	800	800	800
				宅地造成面積(m <sup>2</sup> )		1,175	567	666	
						10,000	10,000	10,000	10,000
						12,600	10,600	10,000	
12	宇都宮鶴田第2土地区画整理事業	事業計画決定区域(鶴田町の一部 86.2ha) 関係権利者(724人)及び市民	H11	道路築造延長	m	3,499	1,960	2,270	2,000
				宅地造成面積	m <sup>2</sup>	1,460	1,949	1,751	
						32,158	27,269	31,500	27,000
						44,440	38,135	26,079	
13	宇都宮大学東南部第2土地区画整理事業	事業計画区域(東峰町、平松本町、峰町、平松町の各一部 41.8ha) 関係権利者(960人)及び市民	H19	道路築造延長		0	110	180	460
				宅地造成面積		0	205	270	
						0	2,300	3,700	9,500
				事業用地先行取得面積		0	2,800	3,800	
						4,470	0	0	0
						4,470	0	0	
14	平松本町第三土地区画整理事業	事業計画区域(平松本町の各一部 3.9ha) 関係権利者(76人)及び市民	H22	業務委託	件	—	—	5	5
				道路築造延長	m	—	—	3	524
						—	—	—	
						—	—	—	
15	再開発促進事業	市街地総合再生計画対象地区内再開発準備組合等:大手地区、パンパ地区ほか(計3地区)	S57	会合開催数(地元打合せ、企業ヒアリング)	回	42	42	63	63
				コンサルタント派遣地区数	地区	55	54	72	3
						2	2	3	3
						2	2	3	
16	宇都宮千手・宮島地区市街地再開発事業	市民及び権利者で構成する地元組織(再開発準備組合、市街地再開発組合)	H19	事業進捗率	%	100	100	100	100
						0	0	0	
17	宇都宮東部土地区画整理事業(未着手地区の推進)	市民及び関係権利者	H7	まちづくり意見交換会等の開催数	回	5	4	3	3
						6	4	7	
18	陽北土地区画整理事業残工事	市民及び関係権利者	H18	道路築造延長	m	0	40	80	40
						0	0	0	

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値、下段：実績値）			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	実績
19	宇都宮テクノポリスセンター地区開発整備推進協議会負担金	宇都宮テクノポリスセンター地区開発推進協議会	H6	事業推進のためのPR活動	回	10	10	10	10
						8	8	9	
20	宇都宮まちづくり推進機構負担金	宇都宮まちづくり推進機構	H11	まちづくり推進機構の会員数	人	200	138	138	159
						146	138	138	
				まちづくり部会等の開催数	件	50	50	50	50
						46	52	25	

第5次総合計画基本計画 中間総括評価表【施策編】

政策の柱	V 都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために	政策名 (基本施策名)	1 機能的で魅力のある都市空間を形成する	施策名	④ 緑と憩いの拠点づくりの推進
------	----------------------------------	----------------	----------------------	-----	-----------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率 H22 H24見通し
					H19 基準年	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23 見込み	H24 見込み	
◆市民が身近に親しむことのできるさまざま緑と憩いの場をつくるため、身近な生活圏の公園整備や拠点公園の整備を推進している。 ◆高齢者や障がい者をはじめとした全市民が利用しやすく、安心して親しめる公園づくりを推進するため、公園バリアフリー化整備に取り組んでいる。 ◆市民に親しめる公園を目指し、市民協働による管理運営を推進するため、公園愛護会の支援に取り組んでいる。	◆総合計画に掲げた施策指標について、市民1人当たりの公園面積は、土地区画整理事業や宅地開発に伴う公園整備により、毎年増加しており、平成24年度目標値を達成している。 ⇒ 公園面積の増加は、当面これまでと同様の見通しであり、平成24年度末は目標値を上回る状況となる。 ◆公園バリアフリー化整備については、着実に事業を実施している。 ⇒ 平成24年度末の見通しとしては、事業を計画通り実施し、目標を達成する見込みである。	101.2%	市民1人当たりの公園面積	m <sup>2</sup> /人	/	10.33	10.36	10.40	10.43	10.46	101.2%
			既設公園のバリアフリー化公園整備数(累計)	公園	/	10.29	10.44	10.48	10.59	10.72	10.77
課題 ◆公園新規整備について、土地区画整理事業や宅地開発事業地に集中するなど公園の配置に課題がある。 ◆市民が利用しやすく、安心して親しめる公園づくりの推進に向け、多様化し変化する利用者ニーズへの対応や、整備・維持管理に係る経費の削減を図っていく必要がある。					/						
					/						
			市民意識調査(重要度・満足度)			H20	H21	H22			
			重要度			70.0	67.0	68.2			%
			満足度			14.5	32.0	34.2			%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
河内総合運動公園整備事業	○ 整備		◆北部地域のスポーツやレクリエーションの拠点とするため、既に供用している屋内プールや陸上競技場に加え、野球やサッカー等ができる多目的運動場の整備など、河内総合運動公園の整備を推進する。 ⇒平成21年度末に整備が完了し、平成22年度に供用を開始している。	◆平成21年度末に整備完了
宇都宮城址公園土塁内整備事業	○ 整備		◆「市民の心の拠り所」である宇都宮城址公園の土塁内を活用し、本市のPRを行うとともに、歴史に触れることを通して郷土への誇り・愛着を醸成するため、宇都宮城址公園土塁内の整備を推進する。 ⇒整備に向けて、事業コンセプトは確定したが、整備・運営水準などについて、さらなる検討が必要となり、平成24年度以降も継続検討となる見込み。	◆厳しい社会経済状況の中、整備・運営水準などについてのさらなる検討が必要である。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)			
						H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23
1	身近な生活圏の公園整備	市民	-	街区・近隣公園の整備数	箇所	4	2	4	4
						4	2	4	
				街区・近隣公園の整備面積	ha	0.8	0.3	0.9	4.2
						0.8	0.3	0.9	
2	公園のバリアフリー化	公園利用者	H13	バリアフリー化公園数	公園	7	8	5	5
						7	8	3	

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値、下段：実績値）			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
3	「もったいないの森 長岡」植樹事業	市民	H20	「もったいないの森 長岡」植樹祭参加人数	名	300	300	150	150
						450	300	210	
				植樹面積	m <sup>2</sup>	1,000	800	600	600
						1,000	800	700	
4	宇都宮市公園愛護会補助金	地域団体	S51	公園愛護会設置数	箇所	360	362	361	366
						352	351	356	
5	宇都宮城址公園整備事業	市民	H12	多くの市民が参加するイベント開催数	件	12	24	24	24
						22	23	24	

第5次総合計画基本計画 中間総括評価表【施策編】

政策の柱	V 都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために	政策名 (基本施策名)	1 機能的で魅力のある都市空間を形成する	施策名	⑤ 都市景観の保全・創出
------	----------------------------------	----------------	----------------------	-----	--------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)						達成率						
					H19 基準年	H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23 見込み	H24 見込み		H22 H24見通し					
◆良好な都市景観の保全・創出のため、景観計画に基づく景観形成重点地区の指定や大規模建築物等の届出により、景観形成の規制誘導を進めている。 ◆景観ワークショップの開催や景観アドバイザーの派遣など、市民協働の景観づくりを進めている。 ◆うつのみや百景推進事業やまちなみ景観賞など景観啓発事業の充実や市民参加を促し、景観に対する意識高揚を図っている。	◆景観形成重点地区等の指定地区数は、平成22年度目標の3地区を指定しており、計画的に進んでいる。 ⇒平成24年度末の見通しとしては、地元住民の合意形成を進めており、目標の5地区を指定できる見込みである。	60.0%	「景観形成重点地区等」の指定地区数(累計)	地区		1	2	3	4	5	60.0%						
					0	1	2	3	4	5	100.0%						
課題 ◆本施策の市民満足度や重要度が低いため、市民・事業者への更なる意識啓発や景観形成重点地区など、より効果的な景観づくりが課題である。 ◆本市の景観行政は平成3年度策定の都市景観基本計画に基づき展開しているため、施策事業の再構築が求められている。																	
												市民意識調査(重要度・満足度)	重要度	56.4	48.7	54.8	%
													満足度	16.6	16.7	16.3	%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
魅力ある都市景観づくり事業の推進		→	◆景観形成重点地区の指定などの規制誘導や、うつのみや百景推進事業などの啓発事業、更に、魅力ある都市景観づくり事業補助金の活用などの市民主体の景観づくりの支援を行い、地域特性に応じた良好な景観の保全、創出を推進している。 ⇒景観形成重点地区の指定地区数は、目標の5地区を達成できる見込みである。また、うつのみや百景推進事業、まちなみ景観賞についても目標値をほぼ達成できる見込みである。 ⇒魅力ある都市景観づくり事業補助金は目標値をほぼ達成できる見込みである。今後も、市民の主体的な景観づくりに取組める環境づくりを進める。	◆地域特性に応じた魅力ある景観づくりを一層推進するため、景観法制度の活用や事前協議制度の導入など、現在の社会情勢を反映した効果的な景観形成の施策事業や仕組みづくりが必要である。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値, 下段:実績値)			
						H20 実績	H21 実績	H22 実績	H23
1	景観計画推進事業	市民・事業者・行政	H20	景観計画に基づく届出の適合率	%	100	100	100	100
						100	100	100	
				景観形成重点地区等に向けた説明会等の回数	回	10	10	10	10
2	まちなみ景観賞	市民・事業者	H4	まちなみ景観賞に係る説明会等の開催数	回	15	15	15	15
						15	17	15	
				応募件数	件	150	150	150	150
						127	124	118	

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値，下段：実績値）			
						H20	H21	H22	H23
						実績	実績	実績	
3	都心部道路景観整備事業	中心市街地に居住する市民・商店・道路利用者	H20	舗装整備延長	m	0	140	230	0
				勉強会の開催	回	0	0	370	
						2	6	9	10
						3	4	5	
				無電柱化延長	m	0	290	0	0
						0	0	160	
4	うつつのみや百景推進事業	市民	H21	追加選定応募件数	件	—	200	—	—
						—	227	—	
				フォトコンテンツ応募件数	件	—	100	—	—
						—	106	—	
				バスツアー参加人数	人	—	100	100	100
						—	101	107	
5	魅力ある都市景観づくり事業補助金	景観形成重点地区を目指す団体、又は景観形成重点地区内の市民・事業者	H21	活動交付金交付件数	件	—	2	2	2
						—	2	2	
				修景補助金交付件数	件	—	0	0	5
						—	0	0	